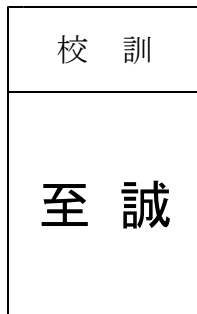


I 本校の教育目標

「至誠（円満で、よこしまのない真心）」は、本校の歴史と伝統から生まれた、地域・家庭・学校のめざす子ども像である。また、校章の5枚の葉は、嵐も雪も跳ね返す強靱な笹の葉であり、大笹生の地名をとった「大」の字を表している。

この2つを本校の教育を支える基本理念とし、たくましく、心豊かな子どもを育成する。

教育目標



「至誠」を校訓として、自ら学び、心豊かにたくましく生きる大笹生の子どもを育てる。

- 進んで伝える子ども
- 進んで関わる子ども
- 進んで鍛える子ども

校章の由来

1 かたちから

笹の葉5枚は大笹生の「大」を、まん中の円の小の字は小学校の「小」をあらわし、全体で大笹生小学校を表示しています。この校章をつける子どもたちは「大笹生小学校児童である」と自分に教えています。

2 構成から

まん中の円は、円満でよこしまのないまごころ（至誠）の人であるように、5枚の笹の葉は、この葉の如く丈夫で忍耐強くまっすぐ（正直）にすくすくと伸びるように（心も体も）教えています。

3 各葉から



一葉は、健康で明るく朗らかな子どもになるように。

二葉は、勤労を好み責任を重んずる子どもになるように。

三葉は、素直で礼儀正しい子どもになるように。

四葉は、自分から進んで研究し、考えて実行する子どもになるように。

五葉は、みんなと仲よく協力できて社会性があり、自分も幸福に、公共福祉のために役に立つ子どもになるように。

しかも、すべてがまごころ（至誠）から出発し、まごころをもって実行する子どもになるように教えています。

この校章をつけている大笹生小学校の子どもは、校章の教えをよく知って、りっぱな人になるように励まなければなりません。